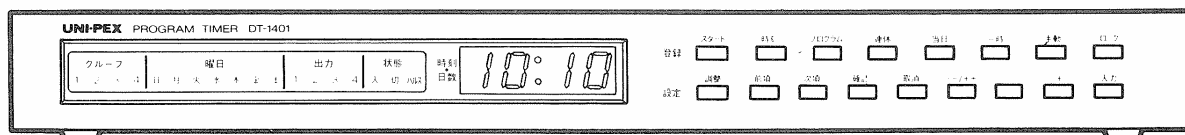


UNI-PEX

取扱説明書

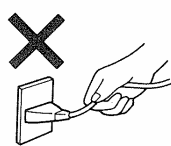
プログラムタイマー

DT-1401

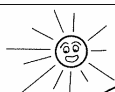
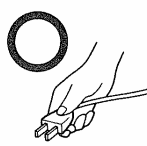


このたびは、プログラムタイマーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。	
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みにになりましたら保証書(別添)と共に大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。	
設置・使用上のご注意	1
各部の名称と説明〔各操作キー〕	2
各部の名称と説明〔表示部〕〔後面〕	3
プログラムタイマーの基本操作	4
プログラムの登録をおこなう前に〔システムリセット／曜日、時刻の設定〕	5
プログラムの登録のしかた〔グループ1・2・3〕	6～7
プログラムの登録のしかた〔グループ4〕	8～9
登録したプログラムの確認のしかた	10
登録したプログラムの取消しのしかた1〔グループの全プログラムを取消す場合〕	11
登録したプログラムの取消しのしかた2〔グループのプログラムを一部分取消す場合〕	12
当日プログラムの登録	13～14
連休の登録	15～16
一時変更の指定	17～18
手動制御のしかた	19
時刻の修正のしかた	20
キーロックについて	21
表示メッセージについて	22～23
停電補償についてのご注意	23
EIA規格ラックへの取付方法	24
定格／外観寸法図	24

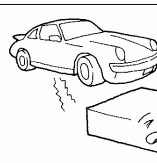
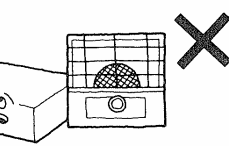
設置・使用上のご注意



- チャイムやアンプ等、他の機器を接続するときは必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- ※コード類を抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張りますと断線したりして危険です。

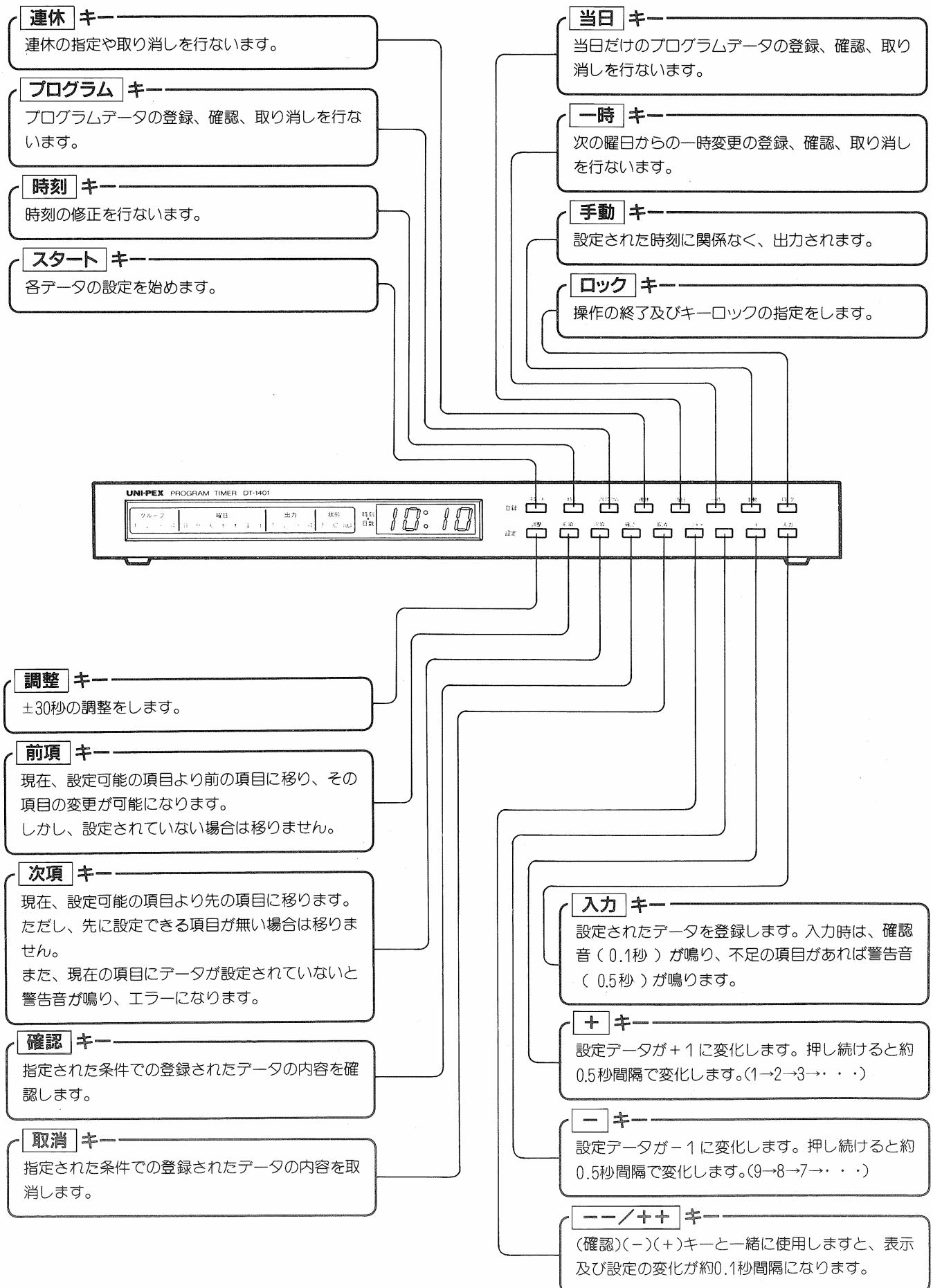


- 直射日光のさしこむ場所、湿度・温度の高くなる所には設置しないでください。また本機の上に水のはいつた容器などは置かないでください。水をこぼしますと大変危険です。
- 雑音防止のためにもアースは必ず接地してください。水道管、ガス管には絶対にアースをしないようにご注意ください。



- 本機を雑音発生の原因になる機器の近くには設置しないでください。
- ※高周波機器(乾燥機・医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、デジタル機器(コンピュータ・電子楽器)、無線機(送信アンテナ)、静電式空気清浄器。
- 本機の改造はしないでください。故障の原因になります。

各部の名称と説明(前面各キーの説明)



各部の名称と説明(前面表示部/後面)

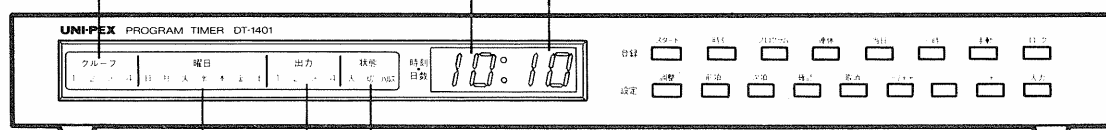
〔表示部〕

グループ表示

曜日が異なっても、時刻、出力の状態が同じであれば一つのプログラムとしてまとめて登録し、一つのグループにします。
 そのようなグループが1から3まで3グループが登録できます。
 グループ4は他の曜日と共通になりにくいプログラムを個々に登録します。
 (グループ登録のしかたを参照)

時刻・日数表示

時刻の分を表示します。
 時刻の時を表示します。
 連休指定の場合は日数を表示します。
 (最大日数25日までです)



曜日表示

指定した曜日が点灯します。

出力表示

指定の出力回路を表示します。

状態表示

入、切、パルス状態を表示します。

注) 各種プログラム登録の時刻とプログラム登録グループ4の曜日の設定で、－＋キー操作の前に、表示が設定しようとする時刻または曜日と同じ場合でも、必ず－＋キーのいずれかを1度押さなければ入力できませんのでご注意ください。

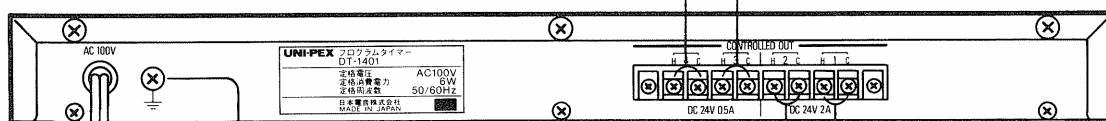
〔後面〕

出力4端子

外部起動端子のあるミュージックチャイムに接続します。
 (ミュージックチャイム MZ-1201では「4音 START」または「ウェストミンスター-START」端子に接続します)

出力3端子

外部起動端子のあるミュージックチャイムに接続します。
 (ミュージックチャイム MZ-1201では「4音 START」または「ウェストミンスター-START」端子に接続します)



AC100Vコンセントへ

アース端子

必ず大地に接地してください。水道管には接続しないでください。

出力2端子

外部起動端子のあるアンプへ接続します。または本機の出力信号により電源の入切が可能な装置を付加したアンプを接続します。
 (GXシリーズのアンプでは電源起動端子です)

出力1端子

外部起動端子のあるアンプへ接続します。または本機の出力信号により電源の入切が可能な装置を付加したアンプを接続します。
 (GXシリーズのアンプでは電源起動端子です)

プログラムタイマーの基本操作

プログラム作成表の記入

- 本機にプログラムを登録させる前に、決定されたスケジュールに合わせてプログラム作成表にプログラムを記入されることをお勧めします。これは、チャイム等を動作させるためには、アンプの電源の入り切りなどの動作が必要で、それらの時刻も登録させなければなりません。そのためにも、分単位の時刻の設定が必要で、かつ、アンプの起動や停止、チャイム等の起動の場合の出力端子が異なるため、綿密なプログラムの設定明細が必要です。そのプログラム作成表にもとづき、順番に本機に入力登録を行なわなければなりません。

記入例

プログラム作成表(グループ1・2・3及び当日 [※] 用)						
※当日プログラムの場合は、グループと曜日の設定はありません。						
No. _____	グループ ①・2・3		プログラムを動作させる曜日 日・月・火・水・木・金・土			
番号	時 : 分	出 力	状 態	備 考		
1	8 : 29	① 2 3 4	入 切 パルス	アンプ電源「入」		
2	8 : 30	1 2 ③ 4	入 切 (パルス)	始業チャイム及びラジオ体操		
3	8 : 35	① 2 3 4	入 切 (パルス)	アンプ電源「切」		
4	8 : 59	① 2 3 4	入 切 パルス	アンプ電源「入」		
5	9 : 00	1 2 ③ 4	入 切 (パルス)	パートタイマー作業開始		
6	9 : 01	① 2 3 4	入 切 (パルス)	アンプ電源「切」		
7	11 : 59	① 2 3 4	入 切 パルス	アンプ電源「入」		
8	12 : 00	1 2 ③ 4	入 切 (パルス)	昼休みチャイム		
9	12 : 01	① 2 3 4	入 切 (パルス)	アンプ電源「切」		

グループ設定

- グループ設定は、1日のスケジュールに基づき複数以上のプログラムが必要で、かつ毎日、同じプログラムを動作させる時に用います。
- 例えば、月曜日から金曜日まで同じプログラムを動作させる場合です。(これをグループ1と設定します。)また、月曜日から木曜日まで同じプログラムで動作させ(グループ1)、金曜日から土曜日までグループ1と違うプログラムを動作させる場合はグループ2として登録します。本機は、そのようなグループを3通りの設定ができます。
- グループ化できない単独のプログラムをそれぞれ設定する場合は、グループ4として登録設定することもできます。そのような場合のプログラム設定内容ですが、グループ1～3までは合計150ステップまでの容量が設定できます。グループ4の場合は100ステップまでの容量が設定できます。

ステップの説明

- アンプ等で電源を入り切りさせる場合は、「入」で1ステップ、「切」で1ステップの容量ですので2ステップが必要です。
チャイムのようにパルス信号の場合は、1動作につき1ステップの容量が必要です。

出力「1・2・3・4」の説明

- 出力1,2はアンプなど、やや多めの電源で動作するものを選択、決定します。
アンプ等は外部起動端子のある製品(ユニパックス製品ではGXシリーズ)もしくは、タイマーの出力信号により、電源の入り切りが可能な装置を付加した製品に限ります。出力3,4はウェストミンスターチャイムや4音チャイムなど、少ない電流で動作するものを選択、決定します。

状態「入・切・パルス」の説明

- 状態「入」「切」「パルス」は、アンプ等、一定時間「入」か「切」の状態を続ける場合は「入」「切」を、パルスはチャイム等の起動のためのパルス信号を選択、決定します。

登録順序

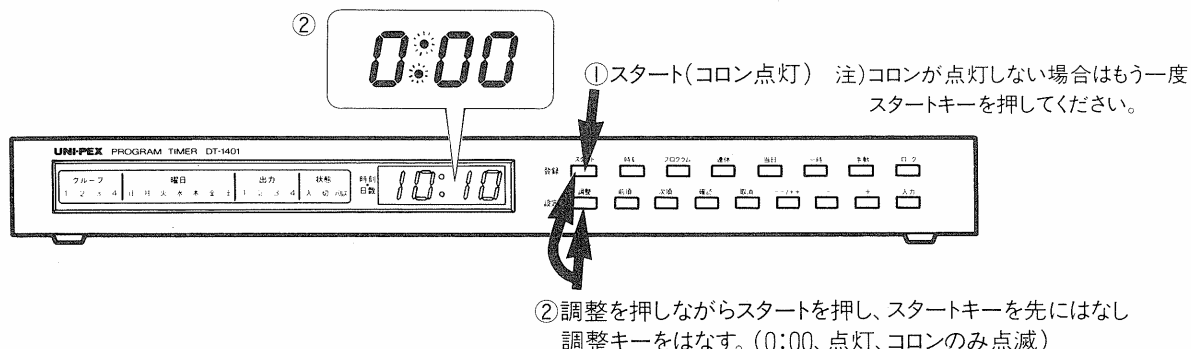
- 登録順序は ①出力の選択、決定 ②状態の選択、決定 ③時刻の時の選択、決定 ④時刻の分の選択、順序で登録を行ないます。
いずれかを除いては登録できません。

プログラムの登録をおこなう前に

- 本機の設置、配線などが終了しましたら、電源を入れてください。システムリセットと曜日、時刻の設定を下記の要領でおこなってください。

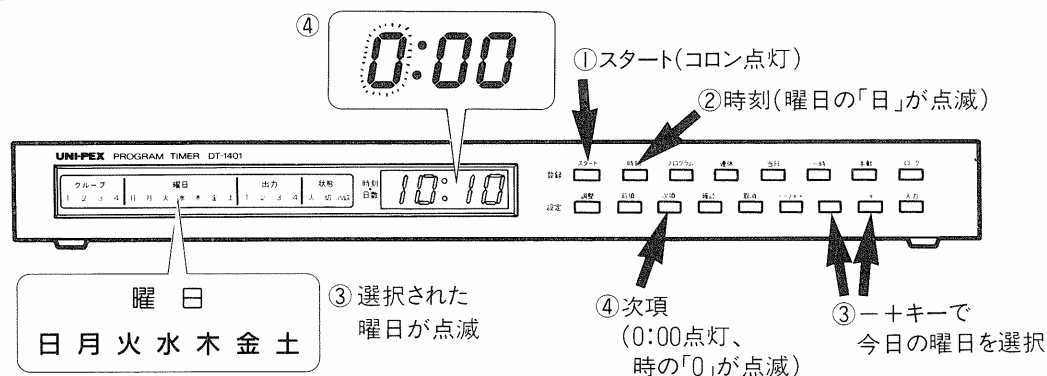
システムリセット

○内の数字の順序に従って、矢印のキーを押してください。

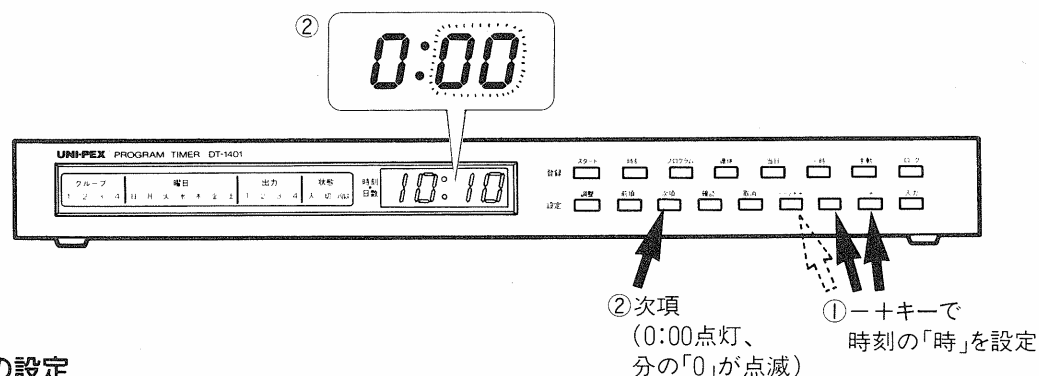


曜日、時刻(時/分)の設定

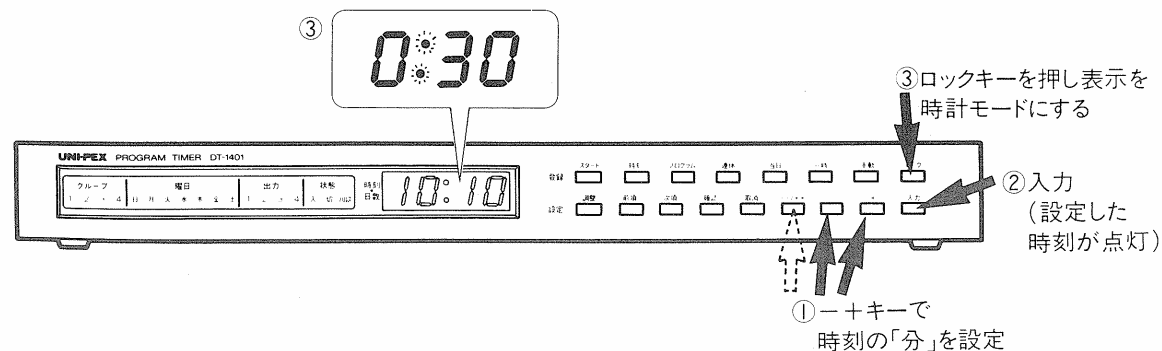
1 曜日の設定



2 時刻「時」の設定



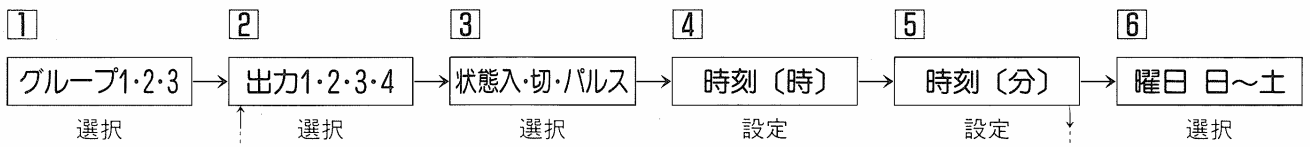
3 時刻「分」の設定



- ②入力キーを押すと時計機能が00秒よりスタートします。正確に合わせる場合は電話の時報などをご利用ください。

プログラム登録のしかた(グループ1・2・3)

プログラム登録(グループ1・2・3)のプロセス

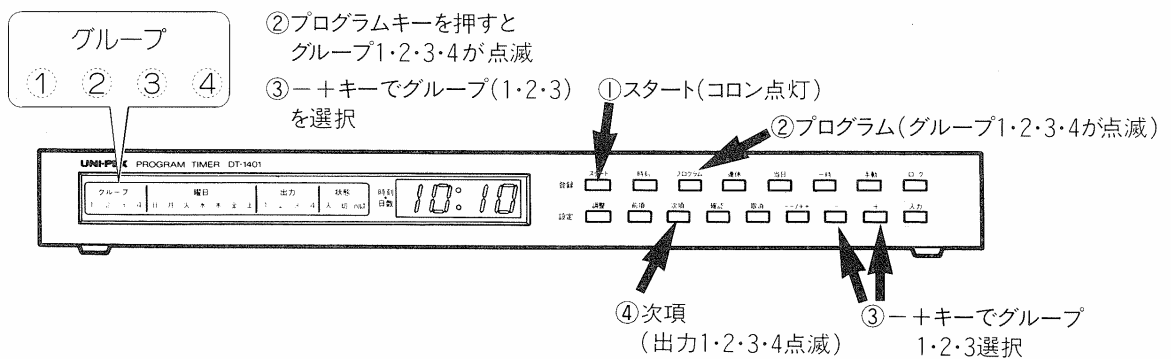


①で選択したグループの全プログラムを②～⑤をくりかえし登録します。
全プログラムを登録後、⑥で曜日の選択をおこなってください。

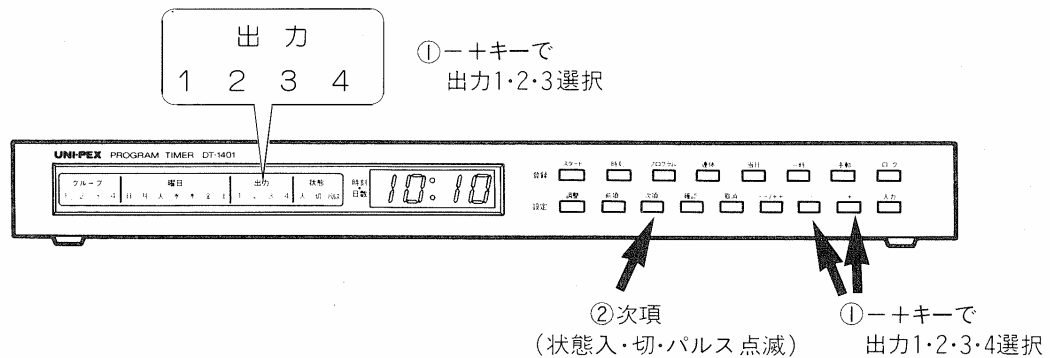
プログラム登録(グループ1・2・3)の操作方法

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

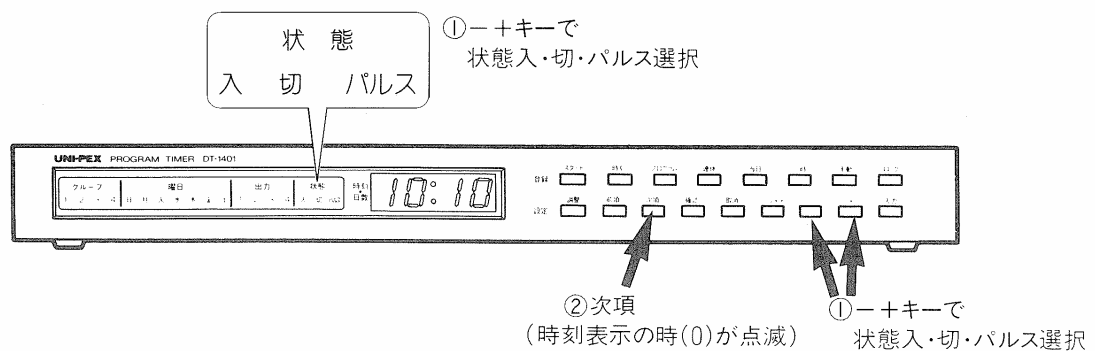
① グループの選択



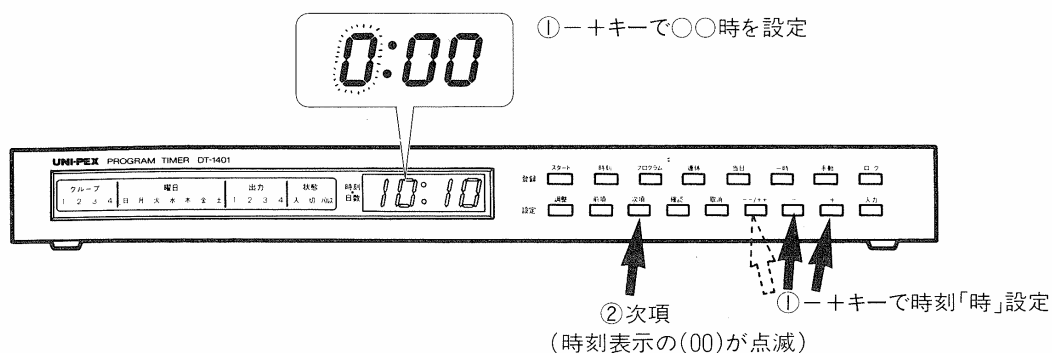
② 出力の選択



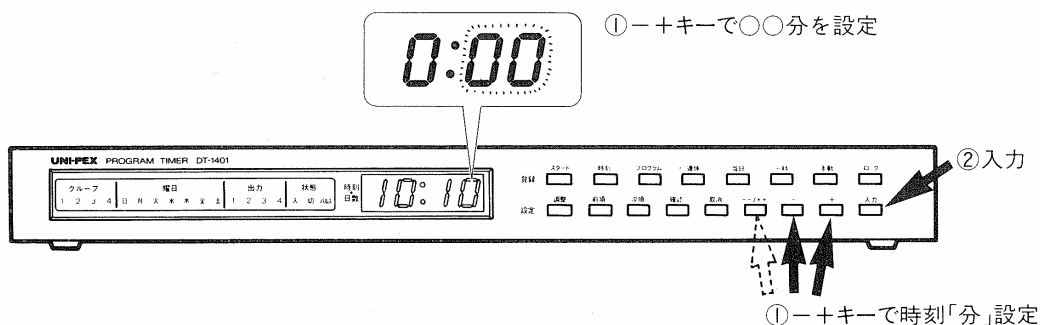
③ 状態の選択



④ 時刻「時」の設定

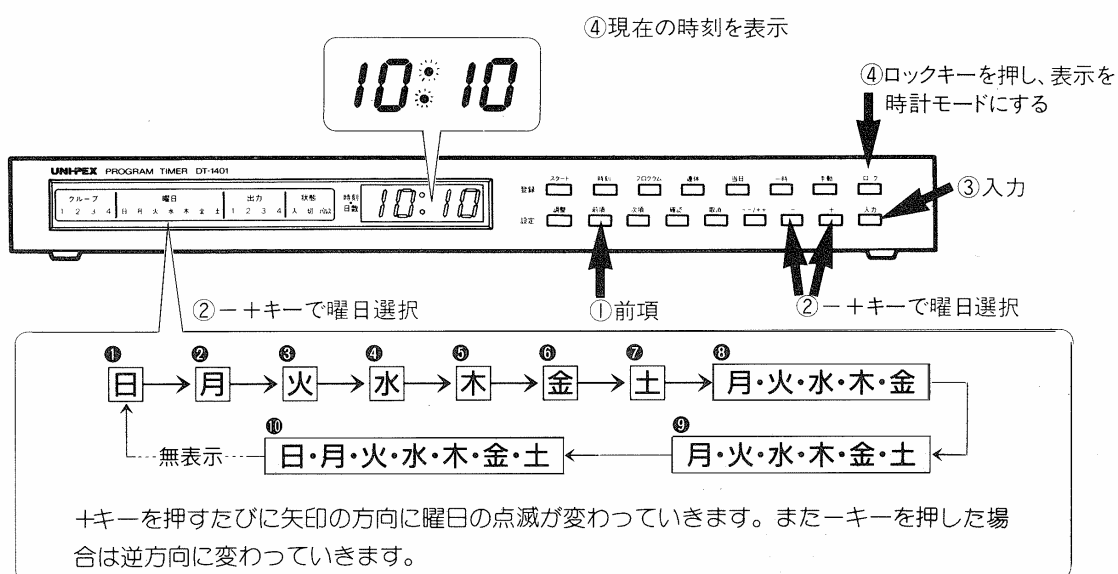


⑤ 時刻「分」の設定



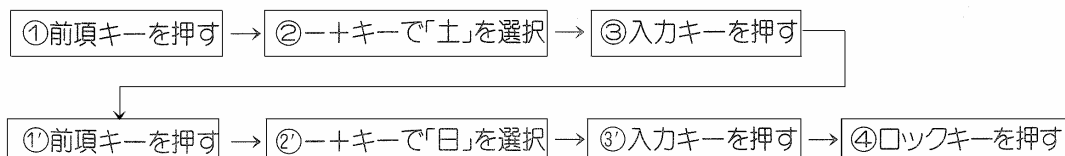
- ①で選択したグループの全プログラムを②～⑤をくりかえし登録してください。登録終了後は、⑥の設定をおこなってください。

⑥ 曜日の選択



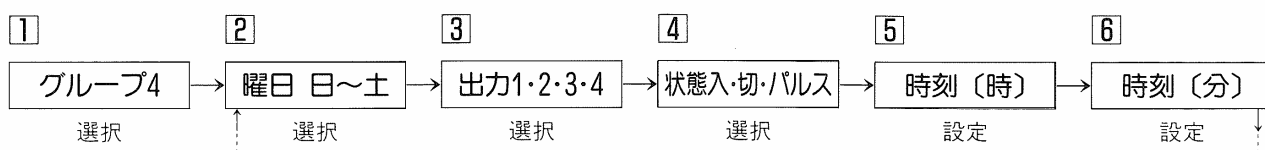
①～⑩以外の曜日の組み合わせを設定する場合

- たとえば、曜日の組み合わせを「土・日」にする場合は、上記の⑥の①・②・③を2回くりかえしてください。



プログラム登録のしかた(グループ4)

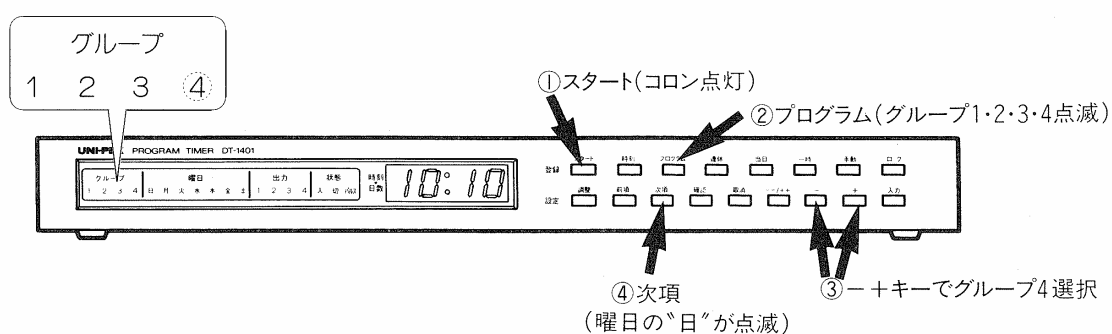
プログラム登録(グループ4)のプロセス



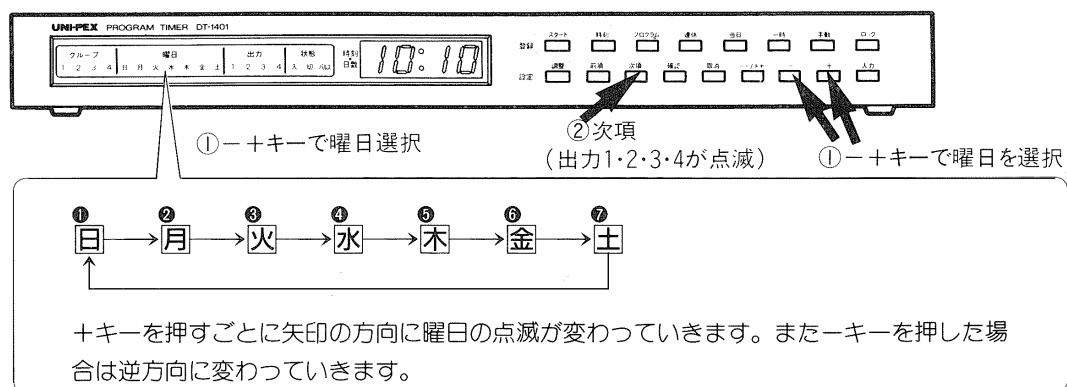
グループ4の全プログラムを②~⑥をくりかえし登録してください。

プログラム登録(グループ4)の操作方法 ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

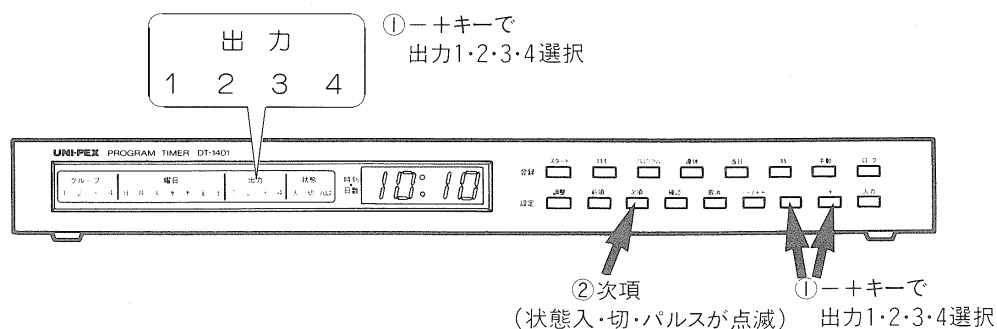
① グループの選択



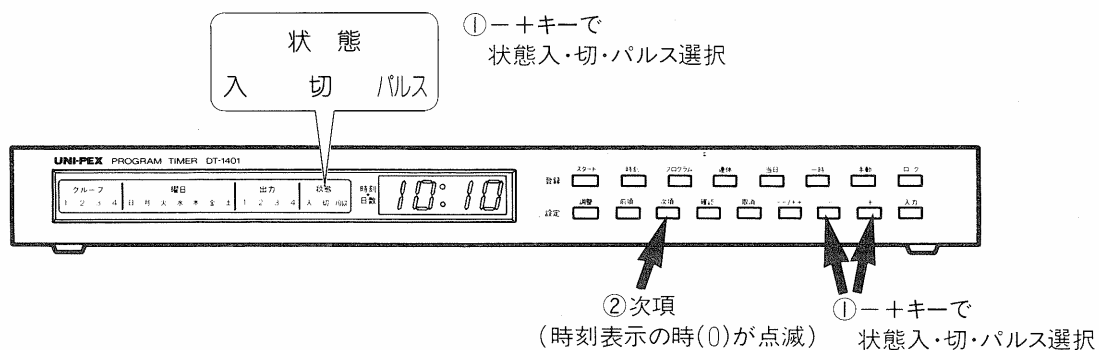
② 曜日の選択



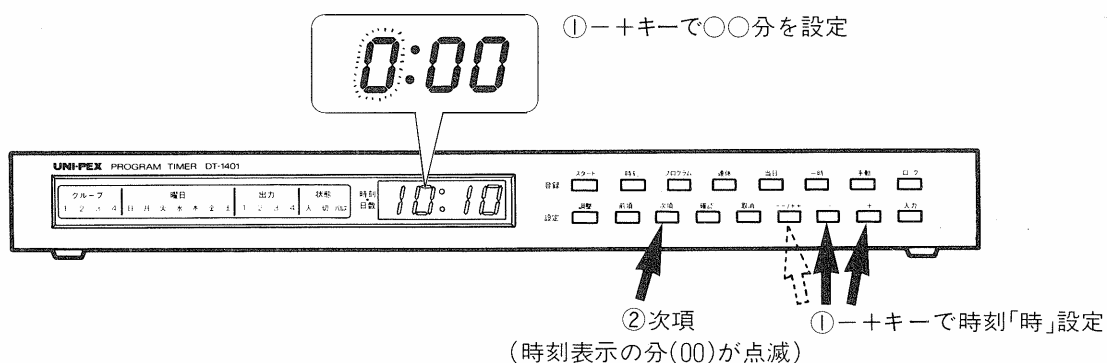
③ 出力の選択



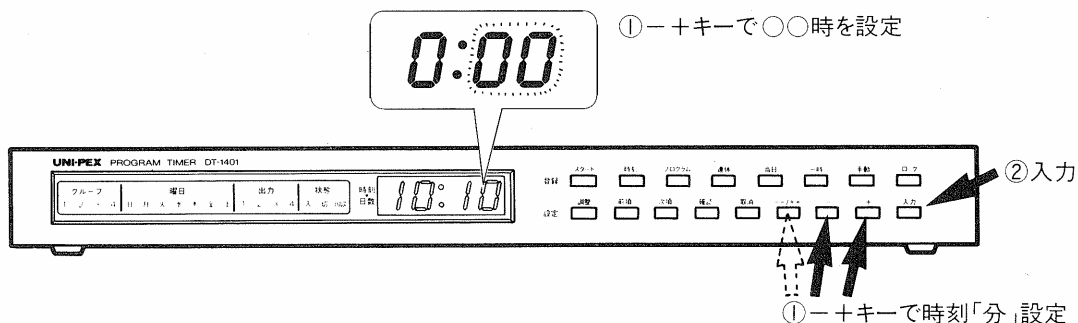
④ 状態の選択



⑤ 時刻「時」の設定

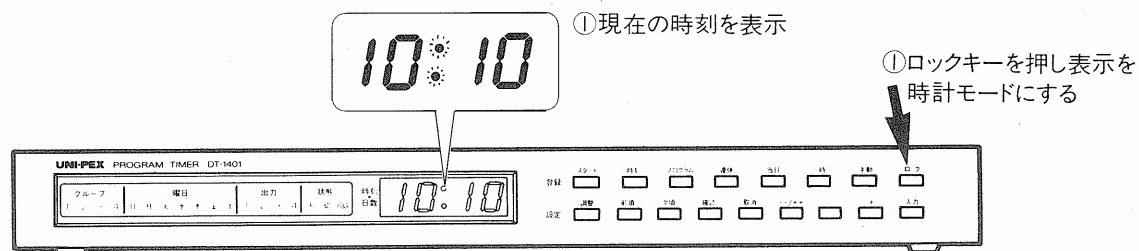


⑥ 時刻「分」の設定



- グループ4の全プログラムを②～⑥をくりかえし登録してください。登録終了後は⑦の操作で表示を時計モードにしてください。

⑦ 通常の時計モードにもどす

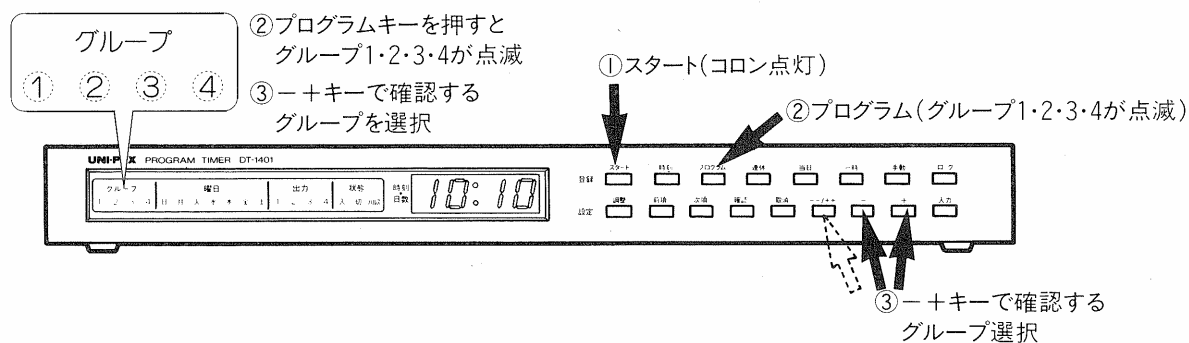


登録したプログラムの確認のしかた

- プログラムの登録終了後、間違いなく設定、登録されているか必ず確認してください。

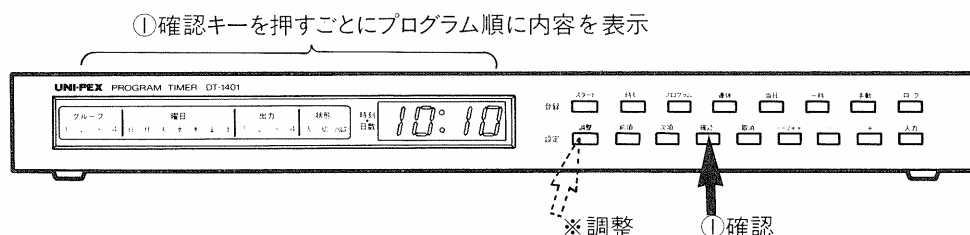
プログラム確認の操作方法 ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

①プログラムを確認するグループの選択



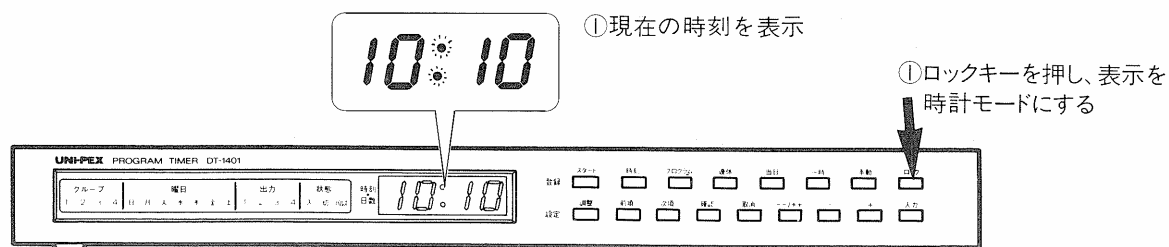
②プログラムの確認

- 確認キーを押すごとに、プログラム順に表示が変わっていきます。①で選択したグループのプログラムの最後まで確認キーを押し表示を確認してください。



- ※表示されているプログラムが実際に動作するか確認する場合は、調整キーを押してください。
- 外部機器を表示内容(出力・状態)どおりに制御します。

③通常の時計モードにもどす

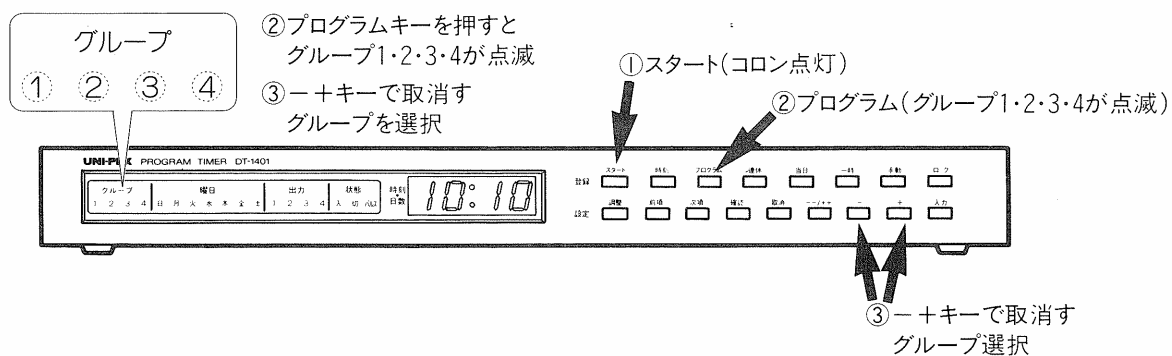


- ①→②→③の要領で各グループのプログラムを確認してください。

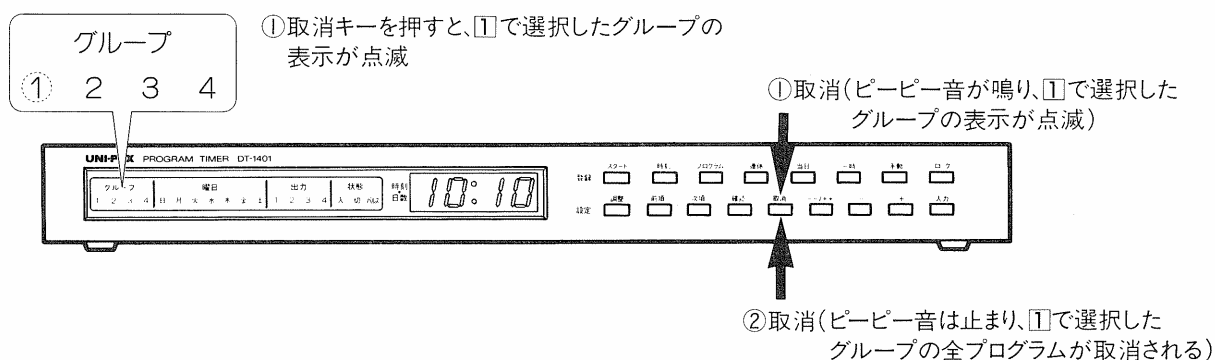
登録したプログラムの取消しのしかた①

グループの全プログラムを取消する場合

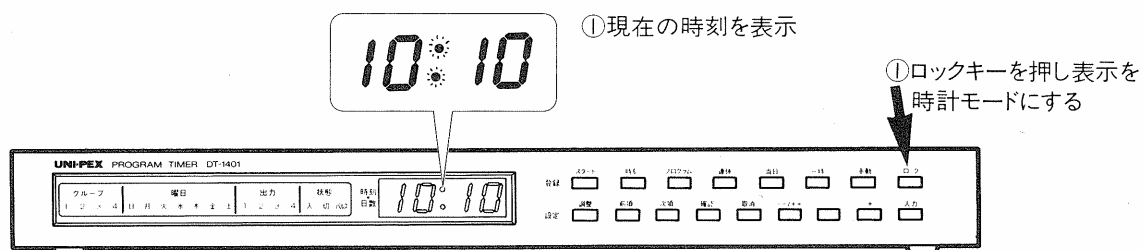
① プログラムを取消すグループの選択



② プログラムの取消し



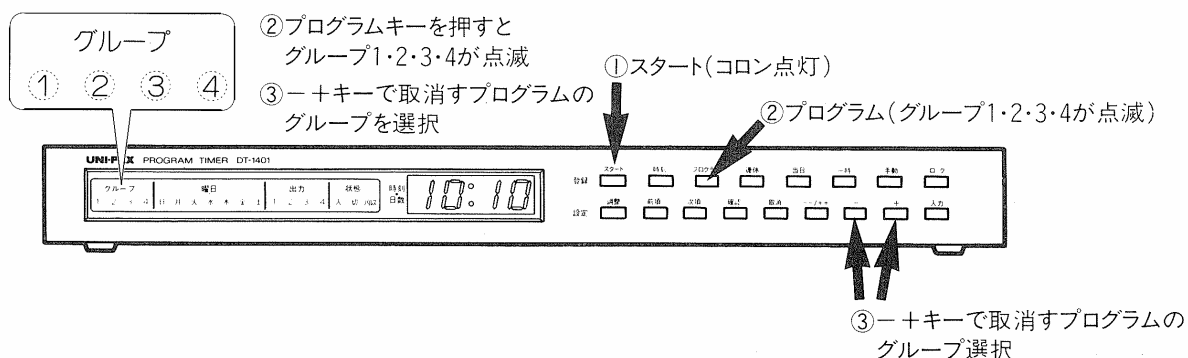
③ 通常の時計モードにもどす



登録したプログラムの取消のしかた②

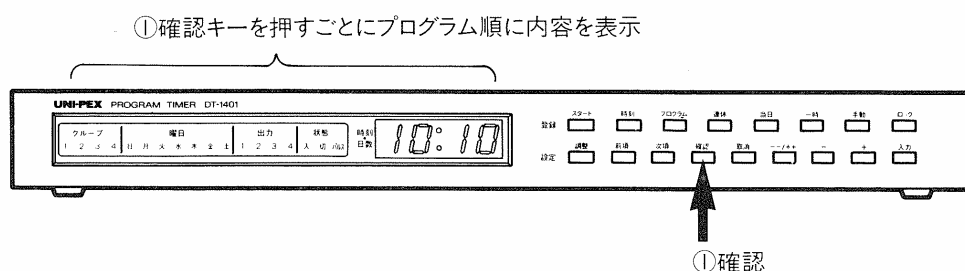
グループのプログラムを一部分取消する場合 ○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

① 取消すプログラムのグループを選択

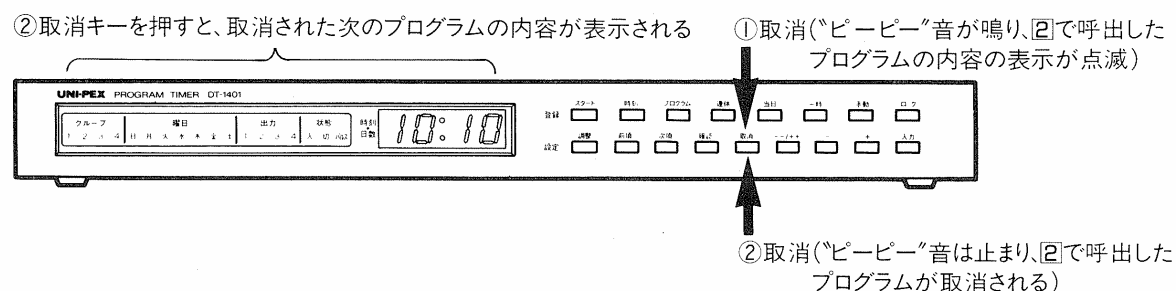


② 取消すプログラムを呼出す

- 確認キーを押すごとに、プログラム順に表示が変わっていきます。取消すプログラム表示に変わるまで確認キーを押してください。

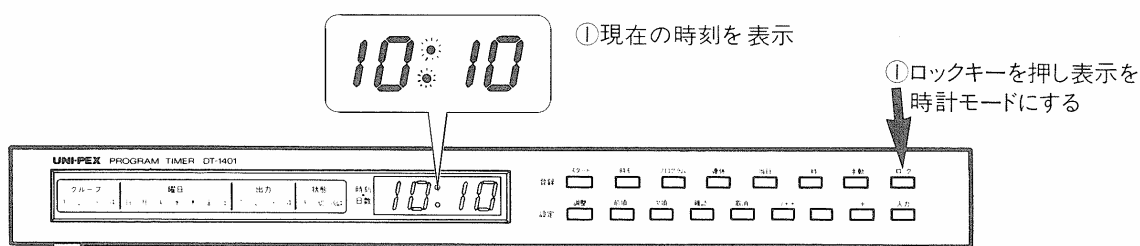


③ 呼出したプログラムを取消す



- 次のプログラムを取消す場合は③の①②の操作をおこなってください。それ以後のプログラムを取消す場合は②の操作で次に消すプログラムを呼出し、③の①②の操作でそのプログラムを取消してください。プログラムの取消しが全部終わるまで以上の操作をくりかえしてください。

④ 通常の時計モードにもどす



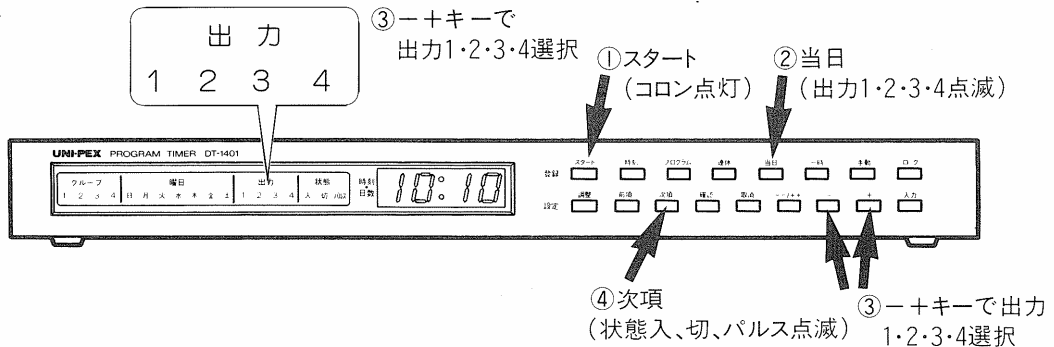
当日プログラムの登録

○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

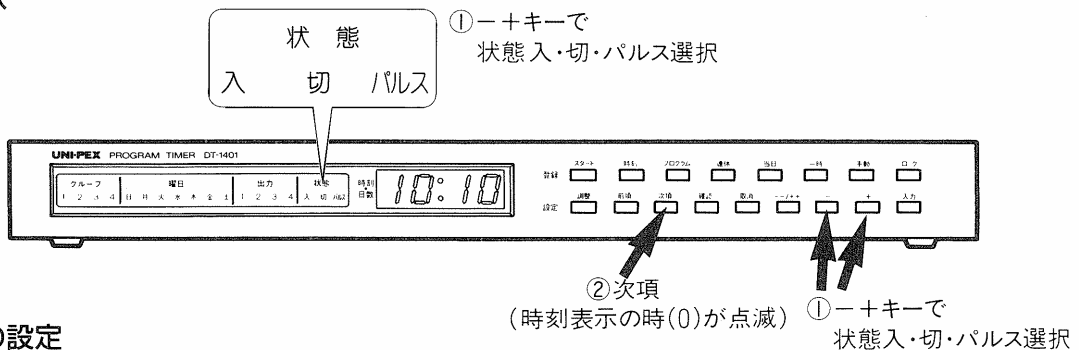
- 登録されているプログラムに本日のみ臨時にプログラムを追加する場合は、当日プログラムの登録をおこなってください。（例、本日のみ午前11時にチャイムを鳴らす。）

注）時刻を設定する場合、現在時刻より前の時刻に設定されても登録はされますが、動作はしません。

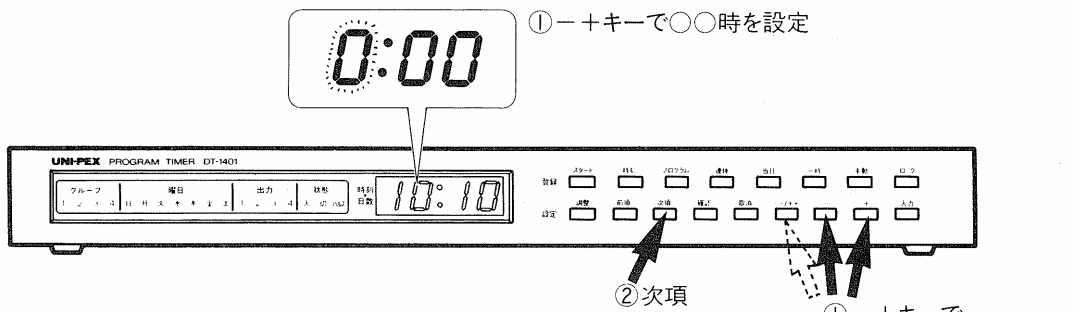
①出力の選択



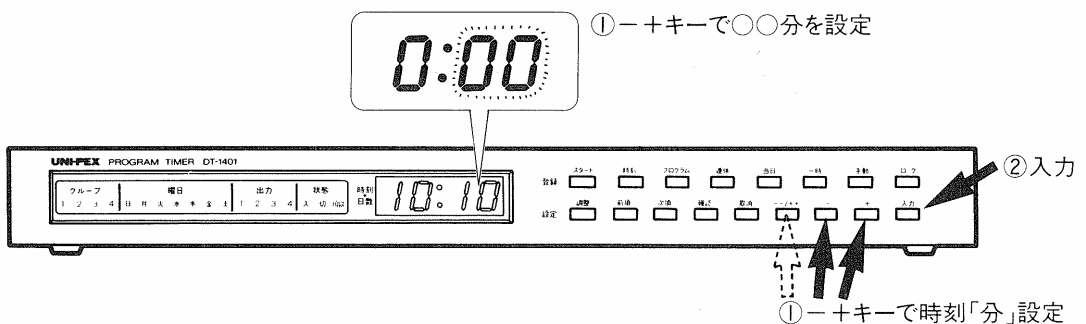
②状態の選択



③時刻「時」の設定

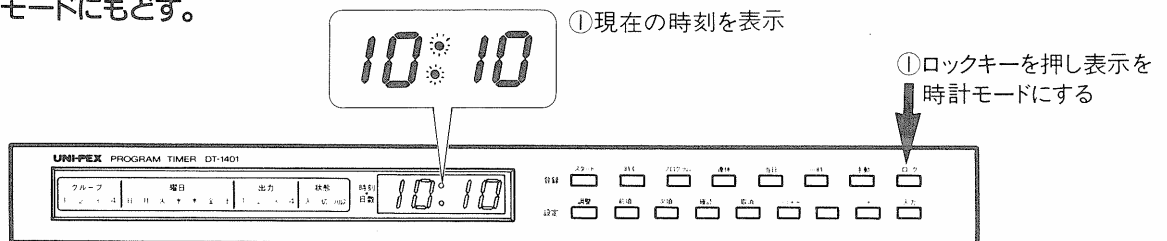


④時刻「分」の設定



- 当日プログラムを①～④をくりかえし登録してください。登録終了後は⑤の操作で表示を時計モードにしてください。

⑤通常の時計モードにもどす。

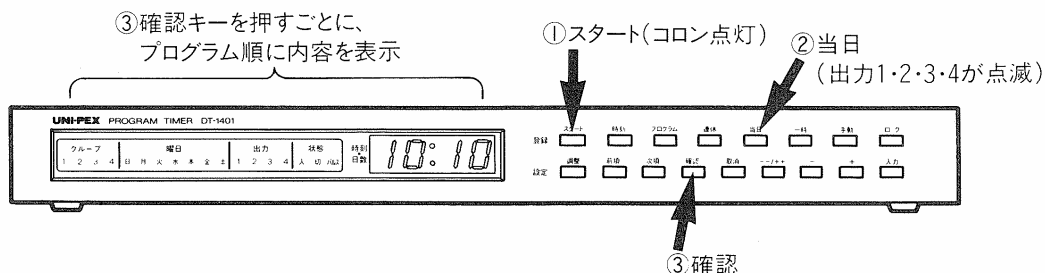


登録した当日プログラムの確認

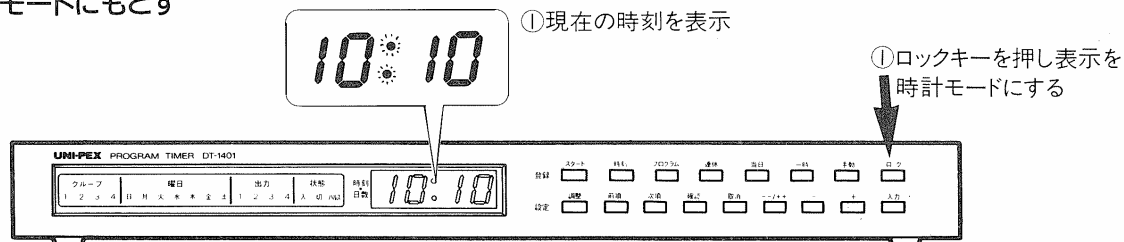
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

- 当日プログラムの登録終了後、間違いなく設定、登録されているか、必ず確認してください。

① 当日プログラムの確認



② 通常の時計モードにもどす



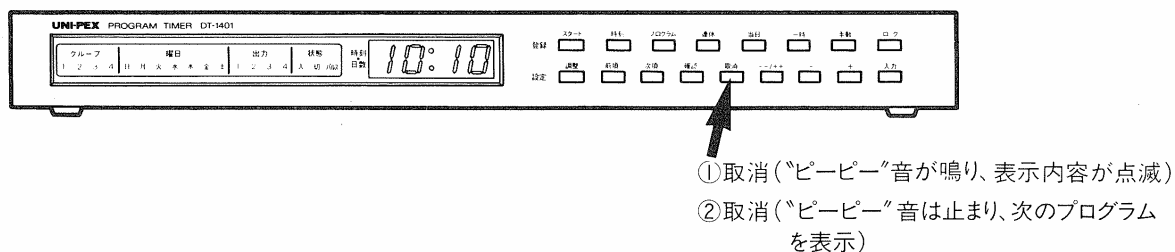
当日プログラムの取消し

- 当日プログラムは翌日には自動的に消滅しますが、当日プログラムの登録の内容が誤っていたり、予定が変更され当日プログラムが不要になった場合は、そのプログラムを取消してください。

① 取消しをおこなう当日プログラムの表示にする

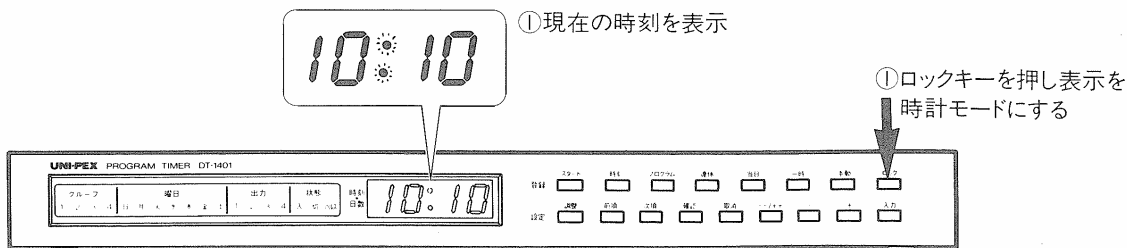
- 前項の「登録した当日プログラムの確認」の操作①②→③の順序で取消しをおこなう当日プログラムの表示にしてください。

② 当日プログラムを取消す



※当日プログラムを全部取消す場合は「スタート」→「当日」→「取消」→「取消」の順にキーを押してください。

③ 通常の時計モードにもどす

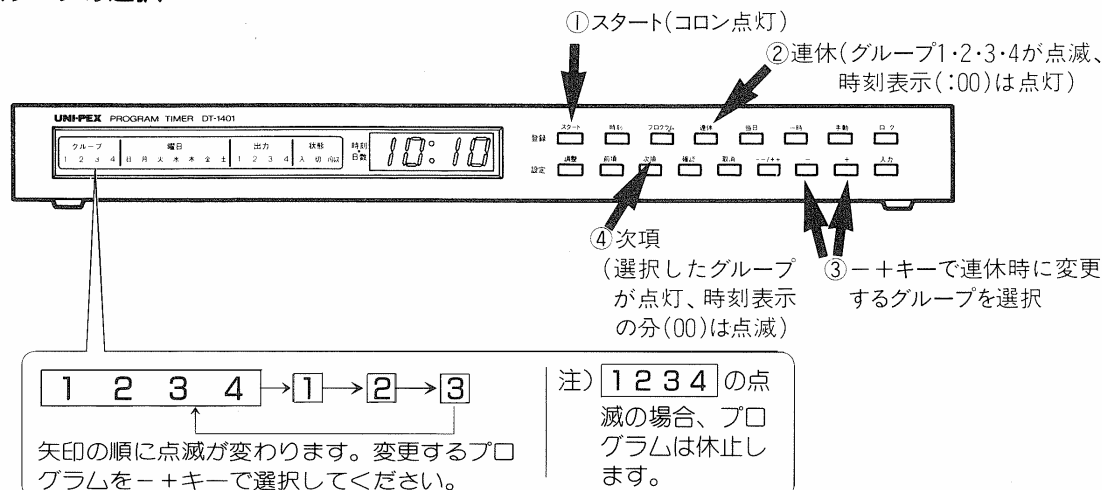


連休(または1日だけの休日)の登録

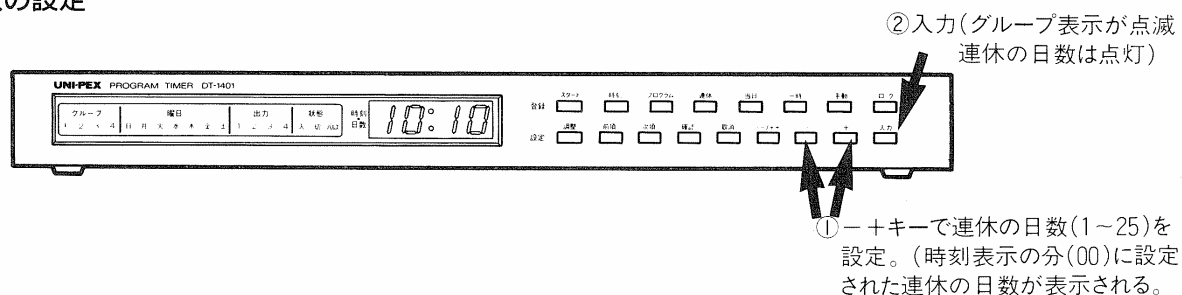
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

- 連休などで、その期間プログラムを休日用グループのプログラムに変更、又は休止させる場合は連休の登録をおこなってください。
- 連休の登録は必ず、連休の前日におこなってください。
- 登録できる期間は1日から25日までです。

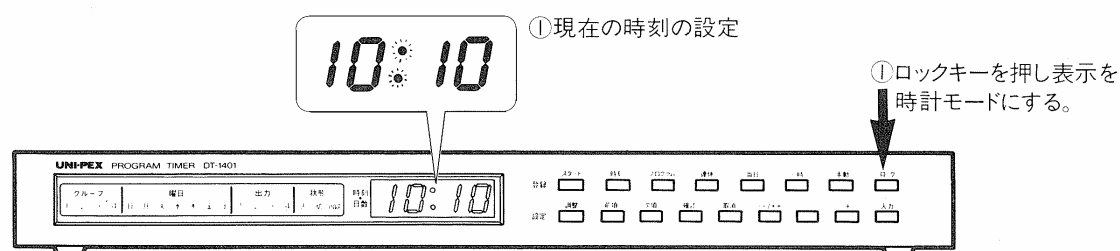
1 変更するグループの選択



2 連休の日数の設定



3 通常の時計モードにもどす

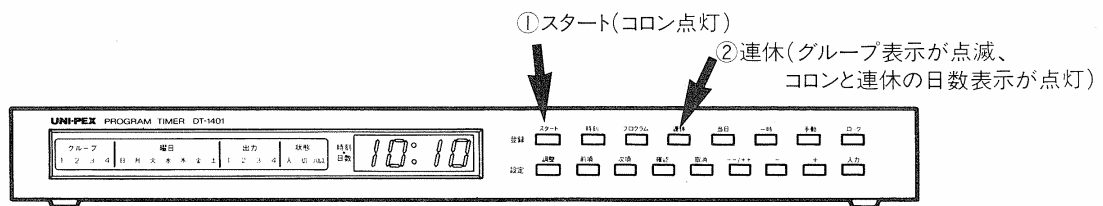


- 連休の登録終了後、間違いなく登録されているか、必ず下記の方法で確認してください。
 連休の登録を確認する場合は、「連休の登録」操作①①→①②の順にキーを押してください。連休時に変更するグループと連休の日数が表示されますので確認してください。確認が終われば、ロックキーを押して通常の時計モードにもどしてください。もし確認した結果、誤って登録されていた場合は、もう一度連休の登録をやり直してください。

連休の登録を取消する場合

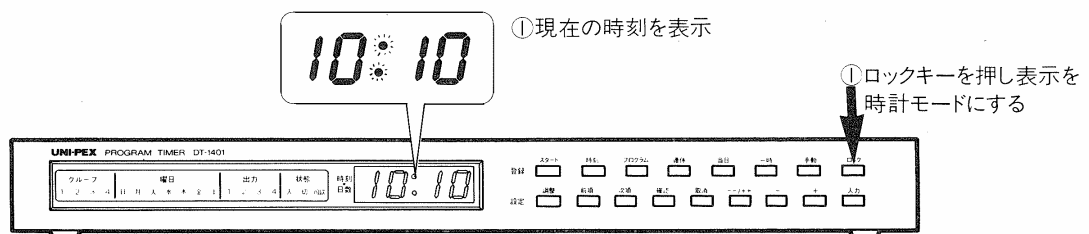
- 予定していた連休が変更になった場合は、連休の登録を取消してください。

1 連休の登録の取消し



- ③取消(“ピーピー”音が鳴り、グループ表示と、連休の日数表示が点滅、コロンは点灯)
- ④取消(“ピーピー”音は止まり、連休の日数表示は(00)に変わる)

2 通常の時計モードにもどす

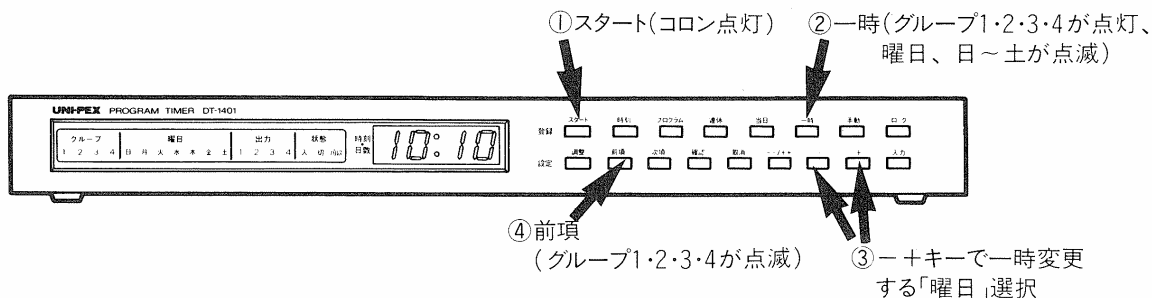


一時変更の指定

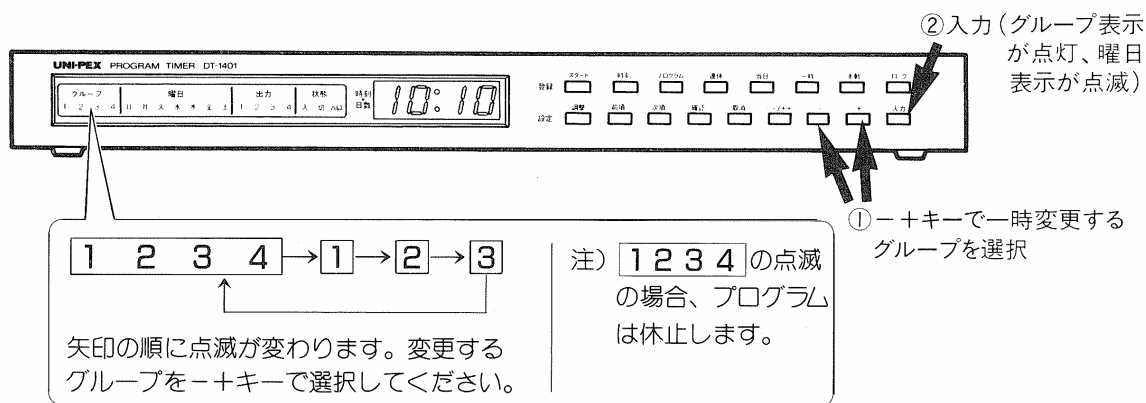
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

- 翌日より1週間以内にプログラムを変更する場合は一時変更の指定をおこなってください。
(例1／次の日曜日は平日のプログラムで動作させる。例2／次の月曜日は祝日なので休日のプログラムで…。例3／次の土曜日は、プログラムを休止させたい。)
 - 一時変更の指定は、翌日より1週間以内で、曜日ごとにおこなえます。(最大7日)
- 注) 一時変更の指定と連休の登録が同時におこなわれている場合は、連休の登録が優先します。

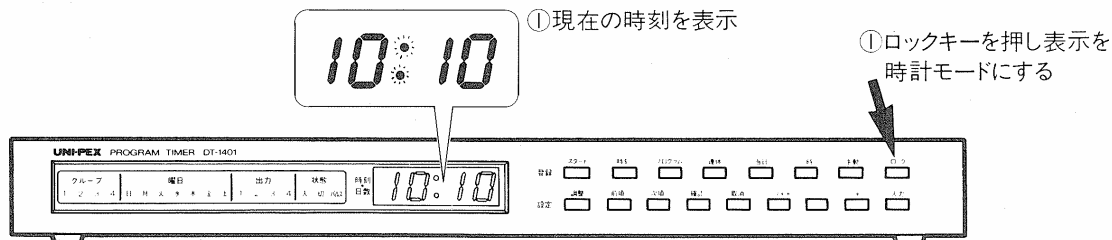
1 一時変更する曜日の選択



2 一時変更するグループの選択



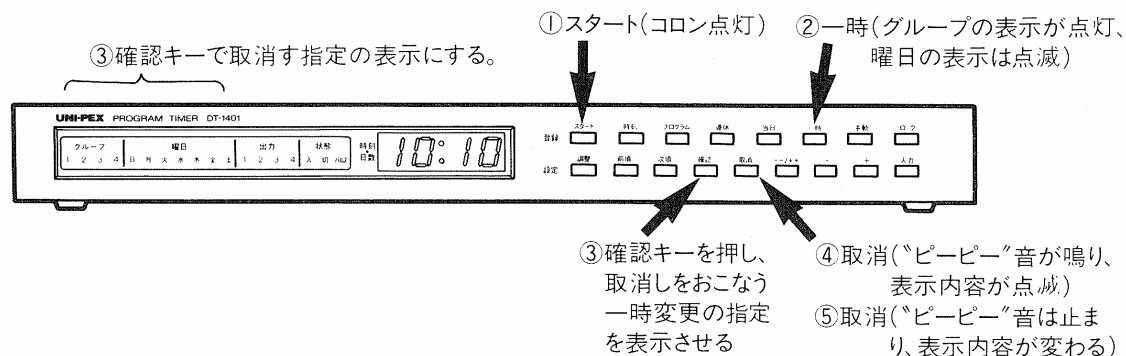
3 通常の時計モードにもどす



- 一時変更の指定終了後、間違いなく指定されているか、必ず下記の方法で確認してください。
一時変更の指定を確認する場合は「一時変更の指定」の操作①①→①②の順にキーを押し、曜日とグループを確認してください。複数の指定を確認する場合は、確認キーを押して、全部確認してください。確認が終わればロックキーを押して通常の時計モードにもどしてください。もし確認した結果、誤って指定されていた場合は、指定をキャンセルし、もう一度、一時変更の指定をやり直してください。

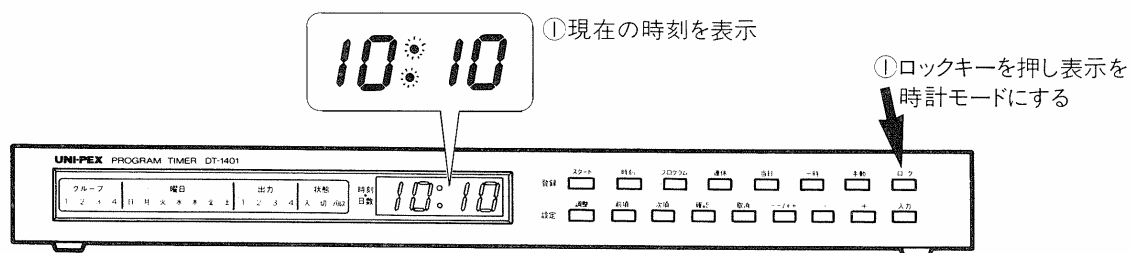
一時変更の指定を取消する場合

1 一時変更の指定の取消し



注) 一時変更の指定が1項目だけの場合は③の操作は不要です。省略してください。

2 通常の時計モードにもどす

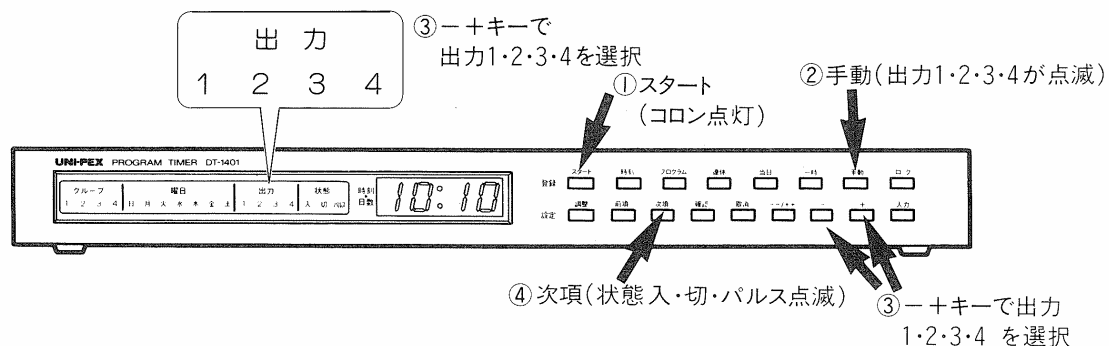


手動制御のしかた

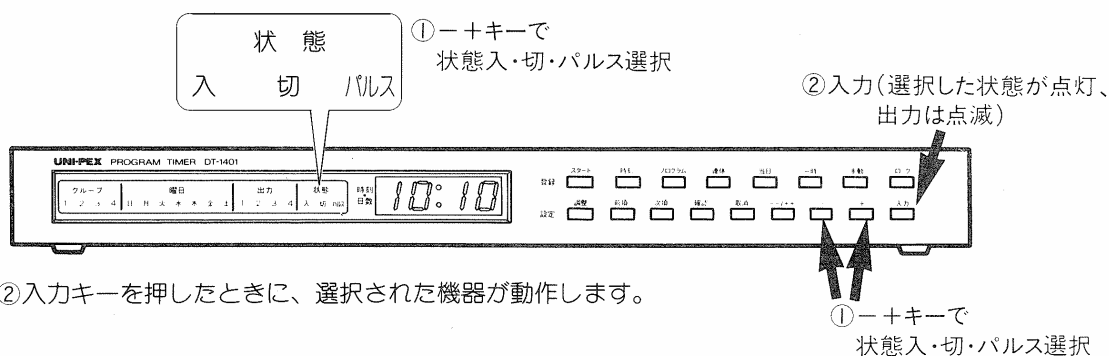
○内の数字の順序に従って矢印のキーを押してください。

- 今すぐ外部機器を制御させる場合は、手動制御をおこなってください。
(例. 今すぐチャイムを鳴らす)

① 出力の選択

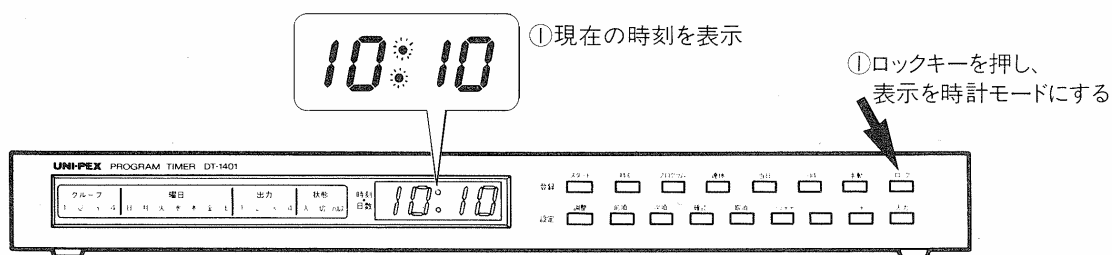


② 状態の選択

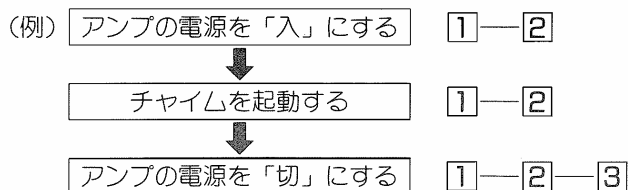


②入力キーを押したときに、選択された機器が動作します。

③ 通常のモードにもどす



- プログラムの動作に必要なだけ、①—②—③の操作をおこなってください。



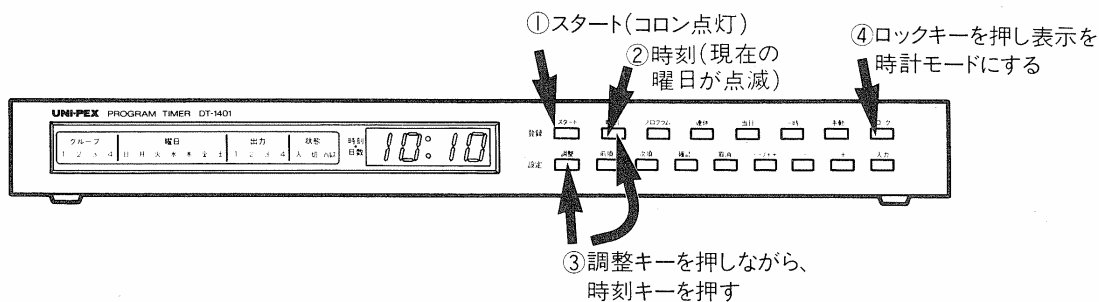
時刻の修正のしかた

○内の数字の順序に従って、矢印のキーを押してください。

- 本機の時計機能は、月差±5秒(室温25℃)です。しかし、停電があった場合はそれ以上の誤差が生じることがありますので、週に1度、定期的に時刻の調整をされることをおすすめします。

±30秒以内の修正

- 室温が25℃付近で停電がなかった、自然誤差を修正する場合は次の操作をおこなってください。

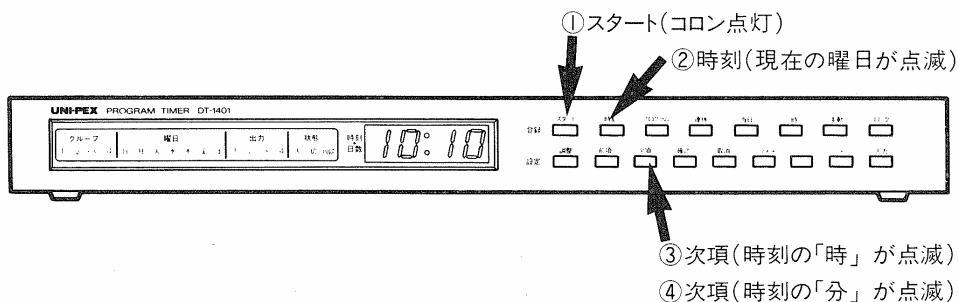


- ③の操作で現在時刻の秒が0~29秒の場合は「分」は変わらず秒のみ0になります。また30~59秒の場合は「分」が+1され、秒は0になります。従って②の操作は電話の時報などで正確な時刻を確認しながらおこなってください。

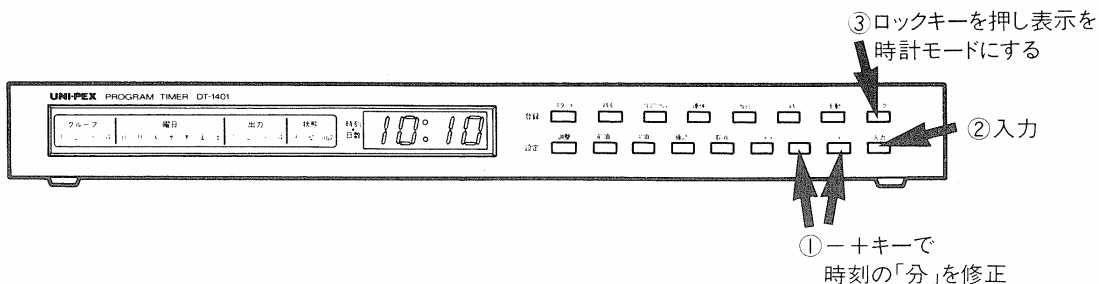
分の修正

- 停電などで、分単位の修正をする場合は、次の操作をおこなってください。

1



2 時刻「分」の修正

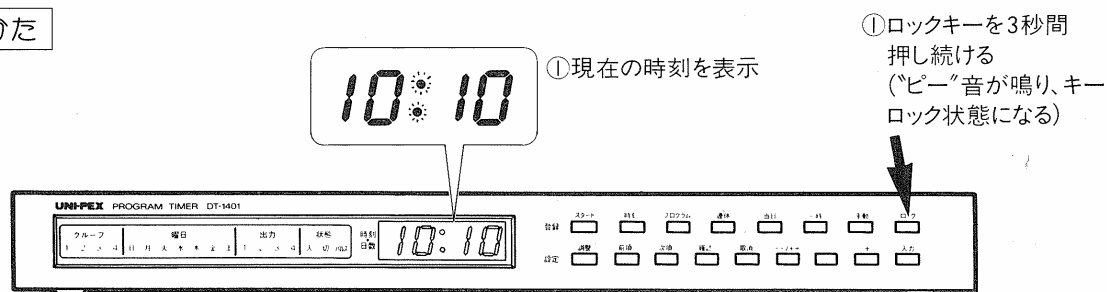


- 2 ②入力キーを押すと時計機能が00秒よりスタートします。
- 2 ①、2 ②の操作は電話の時報などで正確な時刻を確認しながらおこなってください。

キーロックについて

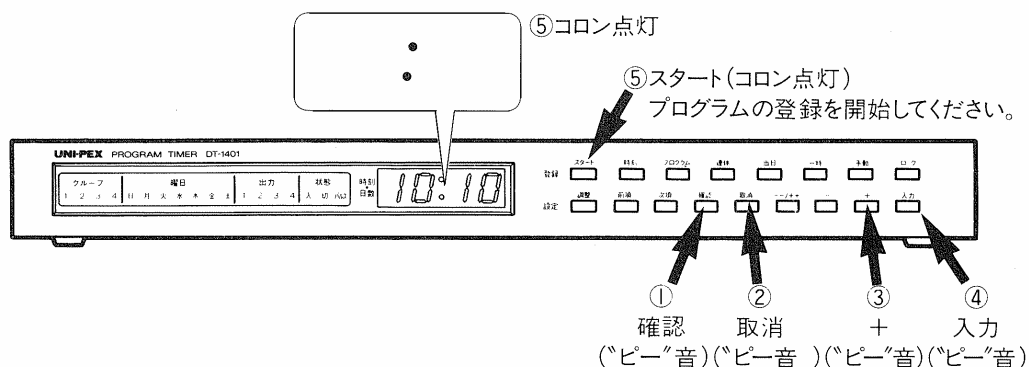
- プログラムの登録時、入力終了後にロックキーを約3秒間続けて押し続けると、警告音(ピー)が鳴りキーロックされます。キーロック状態では、どのキーを押しても受け付けません。プログラムの登録が全部終了しましたら、キーロック状態にしておきますと、誤まってキーに触れたときでも安心です。
- 注)ただし、入力終了後、キーロック操作をする前にロックキーを押してしまうと(3秒以下)、キーロックができませんので、**スタート・時刻**順にダミー操作をしてから、キーロック操作をおこなってください。

キーロックのしかた



キーロックの解除のしかた

- プログラムの登録などをする場合は、次のキー操作でキーロックの解除をおこなってください。



- ⑤スタートはプログラム登録の際の①①のスタートになりますので、続けてプログラムの登録の操作をおこなってください。
- 注) このキーロックについての項の“プログラムの登録”とは当日プログラム・連休・一時変更の指定・手動制御も含むすべての登録操作を意味します。

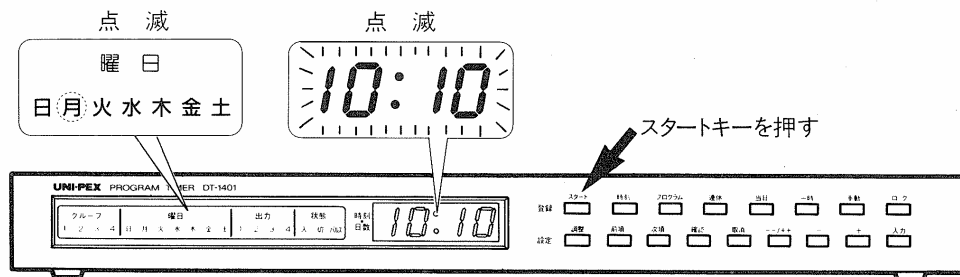
その他のご注意

- 操作途中でキーを押してから約2分間、次のキーを押さないと表示中のデータは無効になり、現在の時刻表示に変わります。以前に入力キーを押して入力したプログラムは有効ですので、無効になったところから操作を続けてください。しかしキーロックの解除は無効になりません。

表示メッセージについて

- 設定登録のミスや停電復帰などの場合には、各種のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、下記の要領で処置してください。

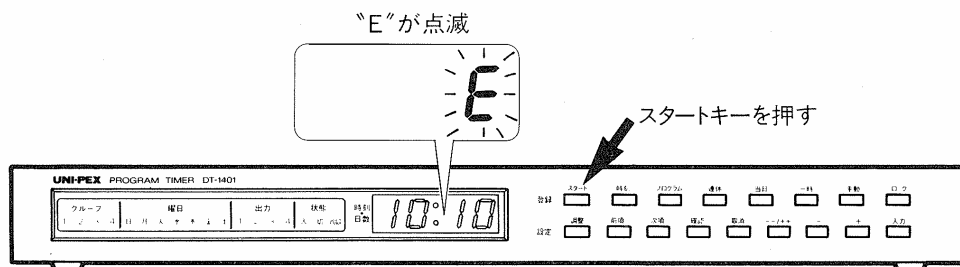
1 表示 ……曜日・時・分・コロンが点滅。



原因 ……停電が復帰した場合です。

処置 ……スタートキーを押してください。

2 表示 ……時刻の分表示箇所に“E”が点滅。

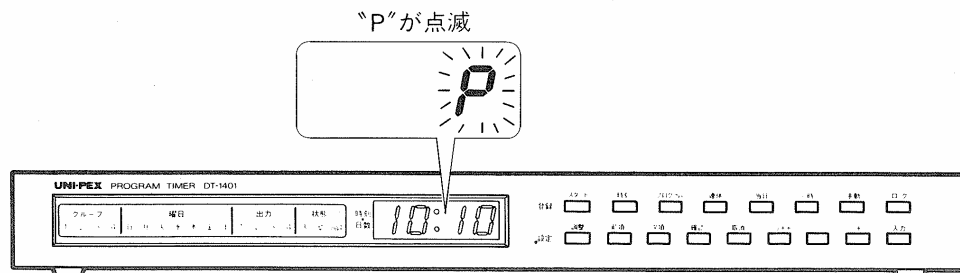


原因 ……システムエラーです。

処置 ……スタートキーを押してください。

- システムリセット済みですから、曜日・時刻の設定及びプログラムの登録をもう一度最初からおこなってください。

3 表示 ……時刻の分表示箇所に“P”が点滅。

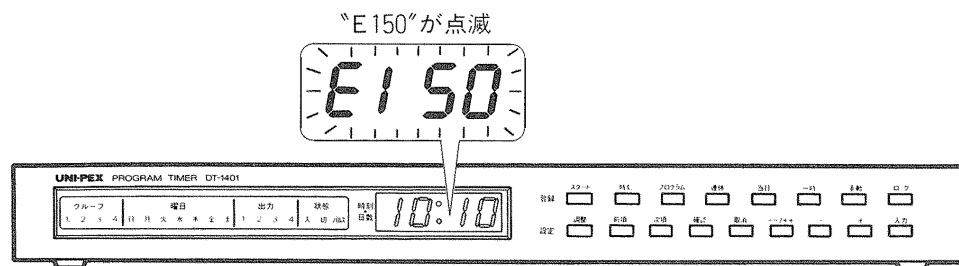


原因 ……プログラム内容の入力エラーです。

処置 ……各プログラムの内容を確認しエラー箇所を訂正してください。

- エラー箇所のあるプログラムは取消し、正しいプログラムを登録してください。

4 **表 示** ……時刻の表示箇所にて“E150”が点滅。

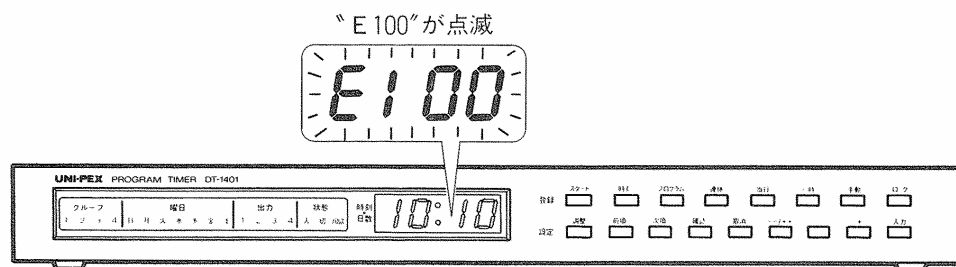


原 因 ……グループ1・2・3の登録でステップの容量が150を越えている。

処 置 ……ステップ容量を150以下にする。

- もう一度、プログラムを確認し、省略できるものを取消してください。
- グループ4(当日プログラムも含む)の容量に余裕がある場合は、少々面倒ですがグループ4にプログラムの登録をやり直してください。

5 **表 示** ……時刻の表示箇所にて“E100”が点滅。



原 因 ……グループ4及び当日プログラムの登録でステップの容量が100を越えている。

処 置 ……ステップ容量を100以下にする。

- もう一度プログラムを確認し、省略できるものを取消してください。

このような時も警告音が鳴ります!!

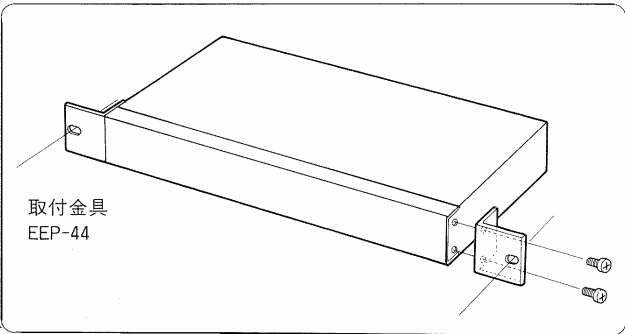
- 各種プログラム登録の時刻「時」「分」とプログラム登録グループ4の曜日の設定で－＋キー操作の前に表示が設定しようとする時刻または曜日と同じ場合があります。しかしそのような時でも－＋キーを操作しなければ入力ミスになり、警告音が鳴ってしまいます。必ずそのような時には－＋キーのいずれかを1度押して設定をおこなってください。

停電補償についてのご注意

- 本機は、停電補償(約200時間)のため予備電源として蓄電池を内蔵しております。使用当初、電源を接続してから約50時間経過しませんと、フル充電状態になりません。プログラム登録終了後、電源を切る場合はご注意ください。
- 本機の電源は、必ず常時通電可能なコンセントに接続してください。常時通電ができないコンセントに接続しますと、通電時間によっては停電補償の時間が短くなり、プログラムが消えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

EIA規格ラック(AVシステムラックASL-191)への取付方法

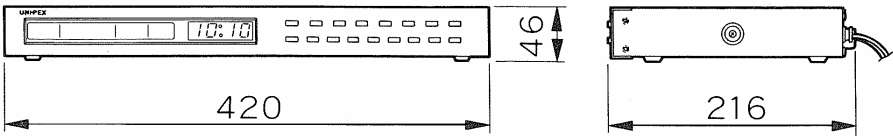
- 別売のAVシステムラック取付金具EEP-44で右図のように取付けます。
- 本機のゴム足をはずします。
- EEP-44付属の飾りワッシャーとねじでラックに取付けてください。



使 用 電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	約 6W
内 蔵 バ ッ テ リ ー	円筒密閉型ニッケルカドミウム電池
停 電 補 償	200時間以上 (周囲温度25℃ で約50時間充電をおこなった満充電状態で使用時)
時 計 精 度	月差±5秒 (周囲温度25℃ AC100Vで使用時)
プ ロ グ ラ ム 数	グループ1～3 (ステップ容量 計150) グループ4・当日プログラム (ステップ容量 計100)
プ ロ グ ラ ム 内 容	曜日、出力番号、出力状態、時、分
設 定 単 位	分
出 力 数	4系統
接 点 容 量	出力番号1・2 DC24V 2A (無電圧メーク接点) 出力番号3・4 DC24V 0.5A (無電圧メーク接点)
出 力 状 態	保持 (入または切) パルス (約5秒)
プ ロ グ ラ ム 入 力	キーボード入力
表 示	動作中：曜日、時、分、出力 設定中：プログラムの内容
特 殊 機 能	連休の設定 曜日の設定 プログラム入力時に確認音または警告音 停電復帰時 表示点滅
使 用 温 度 範 囲	0℃～+50℃
寸 法	幅420mm 奥行216mm 高さ46mm (ゴム足を含む)
重 量	約 2.6kg
付 属 品	保証書1、取扱説明書1
適 合 品	ラック取付金具 EEP-44

外観寸法図

単位mm



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)